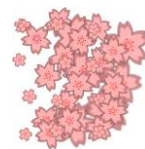




まなざし



NO. 1 令和3年4月7日

いどむ やりぬく 思いやる

新入学、進級おめでとうございます

校長 山本 峰明

59名の新入学生を迎えました。新3年生に82名、新2年生に70名が進級し、令和3年度八百津中学校は、合計211名でスタートしました。裏面のとおり、この度の人事異動で、新たに11名の教職員が着任し、総勢36名のスタッフで、コロナ感染防止に最大限の配慮と、新たな生活の創造を決意し、本日を迎えました。

入学式では、新1年生59名は、八百津中学校44期生であること。3年間、約1100日間、学校教育目標のとおり、何事にもいどむ自分であってほしい。どんなことも、やりぬく自分であってほしい。そして仲間を心の底から思いやるあなたであってほしいと、激励の言葉を贈りました。また、始業式では、感染防止を徹底し生徒会が中心となり、新たな全校行事を生み出した昨年のことに触れ、新2・3年生には困難を乗り越えるパワーがあることを絶賛しました。

また、入学式でも、始業式でも、3日前（4月4日）、競泳の日本選手権100メートルバタフライで優勝し、7月23日に迫った東京オリンピックへの出場を確実にした池江璃花子選手のことを話題にしました。血液のガンである白血病により、一度は泳ぐことだけでなく、生きることもあきらめてしまいそうになった池江選手がいどみ、やりぬいたこの1年間。池江選手がレース後のインタビューで絞り出すように言った「**自分がすごくつらくて、しんどくても、努力は必ず報われる**」という言葉を紹介しました。私は、涙ながらに語る池江選手にもらい泣きしてしまいましたが、コロナ禍の継続で、中止、変更、制限等々が続くであろう今年度、子どもたち全員に、そして保護者の皆様、地域の皆様に、池江選手の言葉をお借りし、お贈りします。

年度始めにお願いをいたします。211人の仲間は親しくなるからこそ、時に、心ない言葉や行動で、仲間に悲しい思いをさせてしまうこともあると思います。いじめはどこでも起こりうること、しっかり対応し、仲間を「思いやる」ということを大切にしていきます。ご家庭で、地域で、気になることは、学校へ報ください。また、コロナにかかわる『健康チェックカード』は本校の命綱です。毎日のカード確認、提出についてご協力をお願いいたします。

保護者の皆様、地域の皆様、本年度もどうぞ応援をお願いいたします。